

令和6年度 第1回川崎市市民健康づくり運動推進懇談会 摘録

1 日時

令和6年7月23日(火) 13時30分～15時00分

2 場所

健康福祉局会議室1

3 出欠(◎印:オンライン参加)

(1) 出席委員

岡野 敏明 委員◎ 高柴 重幸 委員 伊藤 啓 委員 堀田 彰恵 委員
濱谷 由美子 委員 須賀 万智 委員◎ 岩井沢 美穂 委員◎ 小川 町子 委員
宇賀神 はな子 委員 清水 豊 委員 斎藤 健一 委員

(2) 事務局出席

健康福祉局長	石渡 一城
川崎市立看護大学 副学長	荒木田 美香子
健康福祉局保健医療政策部 担当部長〔歯科保健政策〕	半澤 元章
市民文化局市民スポーツ室 担当課長	荻田 恵子
教育委員会事務局学校教育部健康教育課 指導主事	安田 幸
健康福祉局保健医療政策部保健医療政策担当 担当係長	島野 洋介
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 担当課長	高橋 伸孝
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 担当課長	阪田 敬子
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 課長補佐	國米 佑宇
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 担当係長	島田 健一
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 担当係長	小内 雄太
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 主任	北野 葉子
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当 主任	小林 一江
健康福祉局保健医療政策部健康増進担当	青木 優里

(3) 事務局欠席

健康福祉局保健医療政策部 担当理事〔保健政策・保健所長〕 田崎 薫
こども未来局児童家庭支援・虐待対策室 担当課長〔母子保健〕 村山 智子

4 議事

- (1) 「かわさき健康づくり・食育プラン」の概要と今後の方向性について(報告事項)
- (2) 働き盛り世代における健康づくり活動の推進について
- (3) 「かわさき健康づくり・食育プラン」の今年度の取組について

5 公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人の数

なし

7 配布資料

資料1	川崎市市民健康づくり運動推進懇談会運営要綱
資料2	川崎市健康づくり関連会議体系図
資料3	かわさき健康づくり・食育プラン概要
資料4	かわさき健康づくり・食育プランの取組スケジュール
資料5-1	働き盛り世代における健康づくりの取組状況
資料5-2	各団体における健康づくりの取組と健康増進計画の基本施策
資料6	「かわさき健康づくり・食育プラン」令和6年度の取組について
参考資料1	かわさき健康づくり・食育プラン 概要版
参考資料2	アクティブガイド リーフレット
参考資料3	見直そう！健康習慣 リーフレット
参考資料4	令和5年度川崎市健康増進計画「第2期 かわさき健康づくり21」推進に係る取組結果のまとめ

8 川崎市市民健康づくり運動推進懇談会について【資料1、資料2】

(事務局) 資料1に基づき本会議の位置づけ、資料2に基づき健康づくり関連会議の体系について説明。

9 議事

(1) 「かわさき健康づくり・食育プラン」の概要と今後の方向性について(報告事項)【資料3・4】

(事務局) 資料3に基づき、計画の概要について説明。資料4に基づき、計画のスケジュールについて説明。

【質疑応答】

(岡野委員) 資料4「前期計画最終評価から見える市の課題」の健(検)診についてだが、国民健康保険の受診率が28%くらいなのだが、神奈川県にある医療従事者健康保険組合の受診率は75%くらいである。その差はどこから来るのか。アクセスや健診項目の魅力などの課題があると思う。受けた後のフォローアップでは、コロナ禍以降結果を郵送しているところが多い。医師会として今後どうしていくか検討している。

また、たばこについて今後10年間残っているのか。嗜好品として残されているのか。川崎市が率先してたばこを売らない自治体になったらどうかと話している。たばこ税の収入もあるため理想だけでは難しいとは思う。10年後にはたばこを売らない自治体になるぐらいの目標にして欲しい。意見として参考にしていただければ。

(事務局) たばこの関係は、議会でも質問が出るなど様々な議論がある。それを踏まえてこのような記載になっている。普及啓発は進めていく。

(2) 働き盛り世代における健康づくり活動の推進について【資料5-1・5-2】

- (岡野委員) 健康づくりセンターの体育館を使用した施設開放を実施している。市民広報誌としては、健康づくりセンターだより、ほほえみ返しなどを発行している。
- (高柴委員) 産業歯科については、新しい取組である。企業に出向いたり、クリニックに来ていただいたりして健診を行っている。今年12月に実施予定の市民祭り、区民祭り等にもブースを出展予定。
- (伊藤委員) 健康測定機器を数種類持っている。お口の健康フェアに参加し、健康測定機器を使ったブースを出展した。血圧を測ろうキャンペーンでは、各薬局に来た患者に血圧を測っていただき、日頃から心臓の病気についての意識向上をはかる目的で実施をした。また、薬剤師への心血管系の病気についての知識向上を行っている。かわさきTEKTEKでは、薬剤師会内部で周知を行い、誰が一番歩いているか等を競っている。
- (堀田委員) 看護協会として、市民向けに健康づくりを強化していく方針を持っている。災害時に健康を守るための普及啓発や、感染予防、心の健康等についても併せて普及啓発を行っている。
- また、市や他の団体に協力をお願いしたいこととして、市民講座の周知をお願いしたいと記載をしたが、11月30日に開催する、おせっかいナースの会はずでにチラシを作成したため普及啓発をお願いしたい。また、他の団体と協力できることとして、看護協会が持っているネットワークを紹介することが可能である。
- (濱谷委員) 様々なイベントで栄養士会としてブースを設けている。今年度、熱中症のポスターを作成した。コロナ禍で市民と触れ合うことが出来なかったため、栄養士会所属の栄養士の職場にポスターを貼ってもらうよう周知をしていた。ポスターの種類は20種類ほどある。9月1日に麻生区の防災祭りを実施するため、備蓄、ローリングストック等について話をしようと考えている。栄養士会は、会員全員で市民に触れ合って活動をしている。
- (須賀委員) 川崎市とは、地域職域連携、公衆衛生、調査実施等に関わっている。役に立てることがあればお声かけ頂きたい。
- (岩井沢委員) 現在、食育推進コンテストの募集をかけている。学校給食の残食率が高く、アレルギーのある子どもが増えている。子どもによって、魚を食べない等偏りがあるので、食の大切さを周知するために授業を行っている。小麦粉・卵を使用しないどら焼き等、様々なアイデアを募集しているところである。
- (小川委員) 親子、男性に向けた料理教室を実施している。料理講習会に参加した方の意識を高めることや、明日からでも出来ること、友達に紹介出来るようなこと等を周知している。講習会の事前と事後にアンケートを取っているのだが、野菜摂取や減塩に心掛けたい、運動習慣を身につけたいとの意見を頂いた。そのような意見から、講座によって行動変容につながっていることを感じた。
- また、各区のイベント等に参加をして、野菜たっぷりのレシピを配ることをしている。
- (宇賀神委員) 武蔵小杉駅周辺で地域活動をしている。シニア世代を対象にラジオ体操を実施しているが、熱中症対策のため中止をしている。若いうちに運動習慣がない方は、高齢者になっても外出の

習慣がないことにつながるため、家に帰って話してもらうことを大切にしている。イベント等でフレイルの講座を行う際には、オーラルフレイル予防として、口を動かすことの大切さや、マッサージの方法等についても啓発を行った。

また、消防士とコラボをして救急救命や心臓マッサージについて講座を行った。高齢の方でも、人が倒れた際などに何が出来るかを知ってもらい、AEDの使用や声をかけることの大切さなどの周知を行った。それとともに、肺活量等自身の健康を気にかけていただくことの大切さを啓発している。

(清 水 委 員) 産業医の専任の義務がない50名未満の事業所を対象に健康診断の結果を所属の産業医が確認し就業区分判定を行っている。がん検診の早期発見に努めるための指導をしており、適度な運動実施についてサポートも行っている。昨年度川崎市で実施をしたアンケート調査では、地域産業保健センターを知らない事業所が40%あり、認知度を上げていく必要があるため、周知のためのリーフレットを作成した。全国安全衛生週間推進大会にブース出展し、少しずつ相談も増えてきた。相談に対しては、詳細を伺い指導を実施している。

また、地域産業保健センターで実施している活動の紹介をし、それに対してのブースを設置、健康相談を無償で行った。徐々にこの取組が浸透してきているのではないかと安心している。当取組についてのパンフレットを後ほど配布するので、周知に御協力を頂きたい。

(斎 藤 委 員) 近頃暑さから外出をしなくなっているが、週に1回は外に出たり働きに出たりするが、同じ行動のため、慣れを感じてきている。本日、新庁舎に始めて訪れたが、良い緊張感を感じている。良いストレスも健康には大切だと思うので、本会議に参加が出来て良かった。暑い中、健康づくりで何を実施したら良いかアイデアがあれば伺いたい。

【質疑応答】

(濱 谷 委 員) 斎藤委員から暑くて何もできないとお声があった。私もどうしても行かなければならない所にだけ外出をしている。暑さの中でしっかり食べることが大切だと感じる。好きな物をしっかり食べて元気であることが必要だ。食欲がない時には好きなものを食べ、食欲が沸いてきたら魚、果物、野菜等を食べるなど、夏を元気に乗り越えることが大切である。

(事 務 局) 薬剤師会の伊藤委員に質問をする。お口の健康フェアに訪れた際、健康測定のブースでは席が埋まるなど大盛況だったことを記憶している。そのような場では参加者からどのようなことを質問されることが多いか。

(伊 藤 委 員) 薬局の店頭に立って対応していると、処方された薬が正しいものか、本当に効果があるのか等聞かれることがあり、質問内容が多岐にわたる。処方箋薬だけでなく、店頭で購入した薬を追加で飲んで良いか等の質問もあった。

(事 務 局) お口の健康フェアはとても賑わっていた。コロナ明けでかなり人が集まったように感じる。

(伊 藤 委 員) 宇賀神委員に伺いたい。暑さで高齢者が運動できず、どうしたら良いか聞かれることがあるがそれに対する良いアドバイスはあるか。その質問をされる方は基本的に薬局に来られる方なので持病を持っているのだが、いいアドバイスがあれば教えていただきたい。

(宇賀神委員) 健康状態によるが、少し元気であれば、買い物ついでにショッピングセンターのなかで散歩をしているという高齢者の方がいる。8月は酷暑で危険なため、コミュニティカフェを中止しようとしたが先日行った際は大盛況だった。他の活動が休止になり、コミュニティカフェに来る方がいるとのこと。夏休みがあり、50代くらいの方が来ていることも。川崎幸病院が作成している運動のワンポイントのチラシを大型連休の前に配っており、簡単に家でできる運動の促しをしている。高齢者は相談をしたいというより、誰かに自分の話をしたいという気持ちが強いのではないかと思う。そのような場合はおしゃべり電話の会を紹介している。誰かとつながっていることで不安感を無くしている。そのような相談が出来る相談コーナーがあったら良いと思った。

(3) 「かわさき健康づくり・食育プラン」の今年度の取組について【資料6】

(事務局) 資料6に基づき令和6年度実施予定の取組を説明。

【質疑応答】

(事務局) 1人1人の健康づくりの意識の醸成が大切だと考えている。9月～10月には健康増進普及月間等での普及啓発を予定しているが、さらにパワーアップした取組をしたいと考えている。協力できることや、更に取り組むべきことなどがあれば伺いたい。

(宇賀神委員) 暑さが和らいだ9月から健康増進普及月間に併せた取組を行うとのことだが、急激な気温の変化もあり、どのような普及啓発を行えば良いのか。意識開発の方法等で意見があれば。

(岡野委員) テレビを見ていると、熱中症対策について意見が飛び交っている。個人としては、郷に入っては郷に従えではないが、涼しい環境にだけいることには限度がある。暑さにある程度順応できるようにしておく必要がある。

十分な水分、栄養管理、睡眠が大切。個人差、年齢等によって違いがある。暑い環境を避けて通るのではなく、慣れておく必要がある。

4 その他

(事務局) 「令和5年度川崎市健康増進計画「第2期 かわさき健康づくり21」推進に係る取組結果のまとめ」は参考資料4として添付したので後ほど御確認いただきたい。次回の開催は2月を予定している。開催が近づいたら改めて日程調整をさせていただきたい。

以上